

『日本労働研究雑誌』 総目次

(No. 582/2009年1月～
No. 593/2009年12月号)

(提言)

- 雇用の原則に立ち返る ……………高木 剛…582
労働経済学研究に求められるもの ……大竹 文雄…584
雇用区分の多様化と均等処遇 ……………石田 眞…586
外国人労働者問題を考える ……………北浦 正行…587
公教育費支出の増額を ……………橋本 俊詔…588
高年齢者が活躍できる生産職場とは
……………村松久良光…589
世界金融・経済危機と EU 諸国の対応
……………鈴木 宏昌…590
戦後労働運動の第3の高揚期を生み出す新たな条件が
生まれている ……………五十嵐 仁…591
雇用労働についての「輿論」と「世論」
……………下井 隆史…592
最低賃金法論議に寄せて ……………渡辺 章…593

(論文)

- 〈派遣社員の適正なマネジメントに向けて〉
労働者派遣をめぐる法的問題 ……………皆川 宏之…582
製品開発における派遣技術者の活用——派遣先による
技能向上の機会提供と仕事意欲
……………佐野 嘉秀・高橋 康二…582
派遣労働者のキャリア形成に向けて——ヒアリング調
査による考察 ……………松浦 民恵…582
製造業務請負の事例に見る業務請負適正化の課題
……………木村 琢磨…582
〈ワーク・ライフ・バランス (WLB) の現状と課題〉
WLBの定着・浸透——制度・実態ギャップと中小企
業 ……………協坂 明…583
従業者の仕事特性とワーク・ライフ・バランス
……………藤本 哲史…583
労働法が「ワーク・ライフ・バランス」のためにでき
ること ……………大内 伸哉…583
ワーク・ライフ・バランスを実現する職場環境——出
版社 A 社の事例から ……………加藤 純子…583
WLB 支援制度・基盤制度の組み合わせが決める経営
パフォーマンス ……………西岡 由美…583

- 組織内プロフェッショナルの就業形態とキャリア意識
——A 社の有期雇用契約と IC (Independent
Contractor) を選択したコンサルタントの事例
……………酒井 之子…583
職業能力開発に対する政府関与のあり方——政府関与
の理論的根拠, 方法と公共職業訓練の役割
……………岩田 克彦…583
キャリア教育からシティズンシップ教育へ? ——教育
政策論の現状と課題 ……………亀山 俊朗…583
〈雇用区分の多様化と転換〉
内部労働市場における雇用区分の多様化と転換の合理
性——人材ポートフォリオ・システムからの考察
……………平野 光俊…586
企業内労働市場の分化とその規定要因
……………西村 孝史・守島 基博…586
正社員になった非正社員——内部化と転職の先に
……………玄田 有史…586
若年者にとっての雇用区分の多様化と転換——その問
題点と課題 ……………白井 利明…586
主婦の再就職と働き方の選択——結婚・育児等による
リタイアと職業復帰 ……………奥津 眞里…586
〈外国人労働を考える〉
外国人労働をめぐる法政策上の課題
……………早川智津子…587
外国人労働者の受け入れは何をもたらすのか
……………中村 二郎…587
外国人労働者問題の根源はどこにあるのか
……………丹野 清人…587
〈教育と労働〉
教育と労働と社会——教育効果の視点から
……………矢野 眞和…588
教育が賃金にもたらす因果的な効果について——手法
のサーヴェイと新たな推定
……………安井 健悟・佐野 晋平…588
専修学校卒業者の就業実態——職業教育に期待できる
効果の範囲を探る ……………濱中 淳子…588
富山県「14歳の挑戦」にみる職場体験の現状と課題

…………寺崎 里水…588
 女性の高学歴化——学部選択・就職・結婚
 ……石田潤一郎…588
 子どもの教育成果の決定要因
 ……小原 美紀・大竹 文雄…588
 〈高年齢者雇用〉
 高齢者就業率の規定要因——定年制度、賃金プロフ
 ァイル、労働組合の効果 ……山田 篤裕…589
 定年延長と継続雇用制度——60歳以降の雇用延長と
 人的資源管理 ……八代 充史…589
 高年齢者の就業と引退——自己選別はなぜ始動される
 のか ……高木 朋代…589
 年金制度改正が男性高齢者の労働供給行動に与える影
 響の分析 ……石井加代子・黒澤 昌子…589
 〈ヨーロッパ労働法の現在〉
 ヨーロッパ労働法の今——解題にかえて
 ……大内 伸哉…590
 EU労働法政策の形成過程 ……濱口桂一郎…590
 EU労働法とイギリス労働法制 ……有田 謙司…590
 オランダの労働法制改革におけるフレキシキュリテ
 ー理念と平等原則 ……大和田敢太…590
 EC法のイタリア労働法に及ぼした影響——保護と柔
 軟性 ……マウリツィオ・デルコンテ…590
 変容する「スウェーデン・モデル」？——スウェーデ
 ンにおけるEC指令の国内法化と労働法
 ……両角 道代…590
 EC指令の国内法化によるフランス労働法制への影響
 ……奥田 香子…590
 EU指令の影響とドイツ労働法制の現状
 ……中内 哲…590
 EU指令の国内法化にともなうスペイン労働法の変化
 ——男女均等待遇と有期雇用縮減への取り組みを中
 心に ……大石 玄…590
 〈企業別労働組合の現在と未来〉
 企業別組合に何ができるか——歴史から学ぶ
 ……仁田 道夫…591
 労働組合の経済効果——研究成果と課題
 ……外館 光則…591
 企業別組合における非正規従業員の組織化事例の示す
 こと ……橋元 秀一…591
 事業再生過程における労働組合の役割
 ……藤本 真…591

〈「管理職」の理論と実態〉
 中間管理職の経済理論——モニタリング機能、情報伝
 達機能とミドルのジレンマ
 ……伊藤 秀史・森谷 文利…592
 次世代経営幹部候補者のキャリアと技量
 ……内田 恭彦…592
 管理職の労働時間と業務量の多さ ……小倉 一哉…592
 〈最低賃金〉
 日本の最低賃金制度について——欧米の実態と議論を
 踏まえて ……大橋 勇雄…593
 最低賃金はどのように決まっているのか
 ……玉田 桂子…593
 企業にとっての最低賃金——認識と対応
 ……坂口 尚文…593
 最低賃金労働者の属性と最低賃金引き上げの雇用への
 影響 ……川口 大司・森 悠子…593
 アメリカ合衆国の最低賃金制度の経緯、実態と課題
 ……笹島 芳雄…593
 フランスの最低賃金制度について ……三谷 直紀…593
 ドイツにおける最低賃金規制の内容と議論状況
 ……根本 到…593
 最低賃金と給付政策に関する理論的考察
 ……小林 航…593

(論文要旨)

〈ワーク・ライフ・バランス (WLB) の現状と課題〉
 病院に勤務する看護職のワーク・ライフ・バランス支
 援の現状把握と今後の推進のための取り組み
 ……橋本 美穂・竹内 祐子・高島有理子
 関根小乃枝・廣瀬佐和子…583
 産業別組織における男女平等参画——UIゼンセン同
 盟の事例から ……後藤 嘉代…583
 企業内保育所事例に見るワーク・ライフ・バランス
 ……中村 艶子…583

(研究ノート)

〈高年齢者雇用〉
 高年法の雇用確保措置をめぐる新たな法的課題
 ……柳澤 武…589

(紹介)

〈派遣社員の適正なマネジメントに向けて〉
 フランスにおける派遣社員への職業能力開発支援の取

り組み ……………中道 麻子…582

〈雇用区分の多様化と転換〉

正社員登用事例にみる雇用の多元化と転換の現状
……………渡辺木綿子…586

〈外国人労働を考える〉

外国人の研修・技能実習制度見直し動向について
……………渡邊 博顕…587

NECにおける高度外国人人材について
……………但田 潔…587

外国人労働者の雇用をめぐる相談事例——東京都の労働相談から ……………作地 清…587

〈企業別労働組合の現在と未来〉

請負・派遣労働者に対する労働組合の対応——電機連合の取り組みと課題 ……………新谷 信幸…591

(論文(投稿))

プロフェッショナルのスキル形成と知識タイプ——公認会計士とクオオツの比較 ……………山本 茂…584

日本におけるブラジル人労働者の賃金と雇用の安定に関する考察——ポルトガル語求人データによる分析
……………橋本 由紀…584

労働市場の二極化——ITの導入と業務内容の変化について ……………池永 肇恵…584

情報通信技術 (ICT) が人々の就業場所に及ぼす影響——テレワークは普及しているのか?
……………坂本 有芳…584

スポーツ活動と昇進 ……大竹 文雄・佐々木 勝…587

交渉内容別に見た労使協議制度の運用とその効果——「問題探索型」労使協議制の分析
……………梅崎 修・南雲 智映…591

就業移動と社会保険の非加入行動の関係
……………酒井 正…592

(エッセイ)

〈その裏にある歴史〉

なぜ労基法では1日8時間・時間外割増率25%となったのか ……………小嶋 典明…585

なぜ年次有給休暇の計画的付与があるのか
……………小倉 一哉…585

なぜILOは三者構成なのか ……………吾郷 眞一…585

なぜ従業員全員が加入している組織が労働組合とならないのか ……………原 昌登…585

なぜ退職金や賞与制度はあるのか

……………大湾 秀雄・須田 敏子…585

なぜ賃金には様々な手当がつくのか
……………笹島 芳雄…585

なぜ日本型成果主義は生まれたのか
……………宮本 光晴…585

なぜ内職にだけ家内労働法があるのか
……………橋本 陽子…585

なぜ「名ばかり管理職」が生まれるのか
……………八代 充史…585

なぜ国家公務員には労働基準法の適用がないのか
……………渡辺 賢…585

なぜ公立学校教員に残業手当がつかないのか
……………萬井 隆令…585

なぜ労働法は強行法なのか ……………米津 孝司…585

なぜ退職すれば違約金を支払わせることは禁止されているのか ……………深谷 信夫…585

なぜ内定式は10月1日に多いのか…小杉 礼子…585

なぜ職業紹介は国が行うのか ……………神林 龍…585

なぜ労働者派遣が禁止されている業務があるのか
……………佐野 嘉秀…585

(学界展望)

労働経済学研究の現在——2006～08年の業績を通じて ……………赤林 英夫・臼井恵美子
坂田 圭・安井 健悟…584

(ディアローグ)

労働判例この1年の争点
……………島田 陽一・土田 道夫…592

(座談会)

平成20年版労働経済白書をめぐって——働く人の意識と雇用管理の動向

……………石水 喜夫・伊藤 実
野田 進・守島 基博…582

高齢者雇用を考える——改正高齢者雇用安定法施行後の働く現場から

……………愛甲 和弘・石田 昭浩・伊藤 恒雄
戎野 淑子・堺 和雄・鈴木 岳生
二宮 大祐…589

(書評論文)

経済発展の実証と理論——斎藤修著『比較経済発展論

——歴史的アプローチ』……………神林 龍…586

(書評)

小池和男著『海外日本企業の人材形成』

……………藤本 隆宏…582

高木朋代著『高年齢者雇用のマネジメント——必要とされ続ける人材の育成と活用』…田尾 雅夫…582

石塚史樹著『現代ドイツ企業の管理層職員の形成と変容』……………竹内 治彦…582

早川智津子著『外国人労働の法政策』

……………紺屋 博昭…584

森戸英幸・水町勇一郎編著『差別禁止法の新展開——ダイバーシティの実現を目指して』

……………川田 知子…584

萩原久美子著『「育児休職」協約の成立——高度成長期と家族的責任』……………坂爪 洋美…584

山口一男著『ダイバーシティ——生きる力を学ぶ物語』

……………大沢真知子…585

葉山滉著『フランスの経済エリート——カードル階層の雇用システム』……………鈴木 宏昌…585

橋木俊詔著『女性格差』……………川口 章…585

中北浩爾著『日本労働政治の国際関係史 1945-1964——社会民主主義という選択肢』

……………久米 郁男…586

塚崎裕子著『外国人専門職・技術職の雇用問題——職業キャリアの観点から』……………上林千恵子…586

メアリー・C・プリントン著/玄田有史解説・池村千秋訳『失われた場を探して——ロストジェネレーションの社会学』……………堀 有喜衣…587

田中堅一郎著『荒廃する職場/反逆する従業員——職場における従業員の反社会的行動についての心理学的研究』……………鈴木 竜太…587

佐藤博樹・武石恵美子編『人を活かす企業が伸びる——人事戦略としてのワーク・ライフ・バランス』

……………藤本 哲史…587

伊藤健市・関口定一編著『ニューディール労働政策と従業員代表制——現代アメリカ労使関係の歴史的前提』……………長沼 秀世…588

仁田道夫・久本憲夫編『日本的雇用システム』

……………平野 光俊…588

遠藤昇三著『「戦後労働法学」の理論転換』

……………三井 正信…588

西村純子著『ポスト育児期の女性と働き方』

……………奥津 眞里…589

西川真規子著『ケアワーク 支える力をどう育むか』

……………三井 さよ…589

河野英子著『ゲストエンジニア——企業間ネットワーク・人材形成・組織能力の連鎖』

……………内田 恭彦…590

橋木俊詔・松浦司著『学歴格差の経済学』

……………小塩 隆士…591

山本寛著『人材定着のマネジメント——経営組織のリテンション研究』……………竹内 規彦…592

枘田大知彦著『ワイマール期ドイツ労働組合史——職業別から産業別へ』……………乗杉 澄夫…593

(読書ノート)

小池和男著『日本産業社会の「神話」——経済自虐史観をただす』……………願興寺皓之…589

小島典明著『職場の法律は小説より奇なり』

……………萩野 勝彦…590

水谷英夫著『ジェンダーと雇用の法』

……………笹沼 朋子…591

大内伸哉著『キーワードからみた労働法』

……………廣石 忠司…592

吉川徹著『学歴分断社会』……………赤林 英夫…593

濱口桂一郎著『新しい労働社会——雇用システムの再構築へ』……………江口 匡太…593

(論文 Today)

「企業内の賃金変動と昇進を説明する最大公約数的モデル構築の試み」……………天利 浩…582

「タレント・マネジメントは人的資源管理の新展開になりうるか？」……………厨子 直之…584

「任意規定や雇用慣行の在り方が労働契約に与える影響——任意規定の「固着性」についての分析」

……………坂井 岳夫…585

「仕事上の裁量は、仕事と仕事以外との境界をあいまいにするか？——仕事と家庭生活との両立を阻害する新たな可能性」……………高見 具広…586

「不安定な労働・不安な労働者——過渡期における雇用関係」……………高久 聡司…587

「労働時間の趨勢と変動——労働ウェッジによる理解の試み」……………村尾 徹士…588

「心理的契約の代替可能性と時間の経過が従業員の態度に与える影響」……………服部 泰宏…589

「いじめ——人格保護と使用者の責任」	原 俊之	590
「団体交渉と参加型経営における比較分析——アメリカとドイツのコールセンターから得られた証拠に基づいて」	前浦 穂高	591
「欧州における労働統合型社会的企業の現況」	米澤 旦	592
「低技能移民労働者の増加がサービス財価格・労働者の賃金・消費者の購買力に与えた影響」	橋本 由紀	593

(フィールド・アイ)

ドイツ法律家大会に参加して	小西 康之	582
ジュネーヴのアパート探し	奥西 好夫	584
ILO と社会的公正	奥西 好夫	585
「告白」 通り	奥西 好夫	586

在中国日系企業の人材マネジメントのあり方とその課題	白木 三秀	587
在中国日本人派遣者の現地マネジメント上の課題	白木 三秀	588
労働契約法施行のインパクト	白木 三秀	589
ティファナからの追想	苑 志佳	590
メキシコにおける大都市と地方都市との落差——アグアスカリエンテスへの旅	苑 志佳	591
メキシコ人について	苑 志佳	592
オーストラリアの有給出産育児休暇制度	坂田 圭	593

(発表)

第 32 回 (平成 21 年度) 労働関係図書優秀賞	591
第 10 回 (平成 21 年度) 労働関係論文優秀賞	591